平成24年度　事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	地区整備計画推進													継続
コード	58	－	23	－	01	－	00	予算事業名	地区整備計画推進					
担当部署	都市計画部		都市計画課		都市計画担当			予算事業コード	会計	10	款	08	項	04	目	01

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け　　位置付けなしの場合

法令による実施義務　義務ではない

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	なし
方向性(節)	2節	交通ネットワークの構築		
施策	1	道路交通体系の整備	個別計画等の名称	なし
細施策	3	安全で人に優しい生活道路の整備		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	山田・宮元町地区、木野目地区、南田島地区(路線延長＝22，650m　面積＝98．7ha) 地区住民との合意形成を図りながら、道路等の生活基盤整理と適切な土地利用の促進を計画的に進め、快適な住環境を備えた市街地として整備する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	平成8年度から境界確認測量業務を行っている。 測量作業の計画立案。関係事業課との調査・工事の年度調整。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額			4,020	3,620	6,350	4,500	0	
	事業費	A	3,657	3,027	5,723	4,001	0	0
	人件費	B	2,590	2,590	4,070	4,070	4,070	0
総コスト(C＝A＋B)			6,247	5,617	9,793	8,071	4,070	0
正規職員(1年間の従事人数)			0.35人	0.35人	0.55人	0.55人	0.55人	
臨時職員(1年間の従事人数)								
国県支出金		D	0	0	2,500	2,000	0	0
その他特定財源		E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(＝C－D－E)			6,247	5,617	7,293	6,071	4,070	0

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	:中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	境界確認実施率	%	53.5	59.6	65.5	68.9	計画総延長に対する累計境界確認実施延長の比率
活動	境界確認実施延長	m	830	1,365	1,315	750	当該年度に実施した境界確認測量の延長
活動	庁内調整会議	回	1	1	1	1	当該年度に実施する測量・工事等の調整を図る会議を開催した回数
活動	通信配布	回	1	1	1	1	当該年度に実施する予定箇所を地区住民に周知する通信を配布した回数

中心指標の考え方	本事業は、成果指標を中心に評価する。
指標に基づく評価	計画の約7割を達成し、地区整備の下地は整ってきており、一定の成果を挙げている。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1)　現在の課題と状況　　有効性に課題　　効率性に課題

・道路及び水路を整備する計画だが、水路については整備の目途が立っていない。
・地区全体の測量が必要となるが、路線ごとに測量しているため、路線間の整合は図られていない。

(2)　比較参考値(他市での類似事業の例など)

なし

(3)　事業を廃止・縮小したときの影響

境界測量を実施している路線から整備を行う計画のため、基盤整備の一層の遅れが懸念される。
整備済みの路線はあるが、未整備の路線が相当数残っており、事業の公平性が保てない。

(4)　**所属長自己評価(今後の方向性)**　　**改善(見直し)**

路線ごとの測量では地区全体の整合が図れないため、面的な地籍調査を行うことで地区全体の整合を図っていく。